

「スーパージュニア選手育成プログラム 2019」トライアル

今年も5月27日(土)、28日(日)に広島会場、6月1日(土)に福山会場でスーパージュニア選手育成プログラムのトライアルを開催しました。

このトライアルで選考された約50名が、一年間を通してさまざまなスポーツを体験する「スーパージュニア選手育成プログラム」に参加することができます。



今年のトライアル参加者は、応募があった県内の小学5・6年生約180名。県内各地の小学校から参加者が集まり、受付の列では「みんなすごい運動神経が良い人に見える・・・。」と保護者にそとつづやく姿も見られました。

学校での体カテストとは違い、周りは知らない子ばかりで緊張感がありますが、ベストを尽くして頑張っておもしろいと思います！

開会行事では、主催者を代表して公益財団法人広島県体育協会 武蔵守 強化副委員長が「ジュニア選手の強化・発掘を目的として始めたこの事業は、今年で12年目になる。プログラムを通して、自分にあったスポーツを見つけてほしい。今日は思いきり力を出して頑張ってください。」とあいさつしました。

広島県スポーツ推進課の 仁井恭子 課長は「将来のオリンピック選手、国体選手を目指して頑張してほしい。また、体験の中でスポーツマンシップも身に付け、人としても成長してほしい。」と激励しました。



準備運動

準備運動が終わったら、いよいよ測定開始です。観客席の保護者の方も、カメラを構え真剣な表情で見守ります。

測定は、上体起こし・40m走・長座体前屈・立ち幅跳び・ソフトボール投げ・20mシャトルランの6種目。学校でも行ったことがある測定なので、測定が終わるたび選手からは「学校では・・・」「学校より・・・」の声が聞こえます。でも、泣いても笑っても今日の測定で決まってしまう。

ソフトボール投げ・20mシャトルランの測定では、毎年良い記録が出ると会場は大盛り上がりです。今年も体育館の壁に勢よく当たる遠投があると、選手・保護者・スタッフからは歓声があがり、シャトルランの測定で、最後まで必死に走る姿には、会場全体から拍手が起こりました。



上体起こし



立ち幅跳び



40m走



長座体前屈



ソフトボール投げ



20mシャトルラン

今回のトライアルの選考は既に終了し、選考結果は各選手の記録とともに、参加者全員に通知を行いました。

体験プログラムは、7月から始まり、計5回のプログラムが実施される予定です。トライアルに合格した約50名に加え、昨年度の体験プログラムに参加した5年生(現6年生)で希望されたジュニア選手が参加できます。

また、トライアル終了後には、スピードスケート・ハンドボール・ウエイトリフティングの競技紹介が行われました。紹介の時には、さっきまでトライアルに参加していた選手が、競技団体の代表としてデモンストレーションを行う場面もあり、選手達にとっては競技がより身近に感じられたのではないのでしょうか。

競技紹介の終了後には、興味を持った参加者が、実際にその道具や機材を手に体験する姿が見られました。

これをきっかけに、今回合格となった人も、残念ながらそうでなかった人も、いろいろなスポーツへの挑戦をしてみたいと思います。新たな発見をしたり、隠れた才能を見つけたりすることができるかもしれません。



スピードスケート



ハンドボール



ウエイトリフティング

最後に、今年もトライアルの測定にご協力をいただいたT&TWAMサポート株式会社のトレーナーの皆様、朝日医療専門学校の学生の皆様、広島県小学生体育連盟の皆様、補助員としてお手伝いをいただいた広島女学院大学、広島文教女子大学、福山平成大学の学生の皆様に改めて御礼申し上げます。ありがとうございました。

